

〈1〉作家名、自己紹介文および経歴

西口直克 Naokatsu Nishiguchi

1954年京都市生まれ

静岡大学大学院 工学研究科 精密工学専攻修了

2021.3. 京都芸術大学 通信教育部 芸術学部 美術科 写真コース卒業

2017年「第3回 いいね！ 右京 フォトコンテスト」優秀賞「朝の修行」

2019年「第17回 京都現代写真作家展(京都写真ビエンナーレ 2019)」入選「Paprika」

Born in Kyoto in 1954.

Shizuoka University Graduate School of Engineering Department of Precision Engineering Completed.

2021.3. Graduated from Kyoto University of the Arts Correspondence Education Department, Faculty of Arts, Department of Art, Photography Course.

2017 "3rd Like! Ukyo Photo Contest" Excellence Award, "Morning Training".

2019 "17th Kyoto Contemporary Photographers Exhibition (Kyoto Photo Biennale 2019)" Selected, "Paprika".

〈2〉制作の動機

エドワード・ウェストンが残した野菜シリーズ、特にその中のキャベツの写真を見て、そのラインの美しさ、生命力の表出に衝撃を受け、このような写真を撮りたいと思ったのがきっかけである。

購入したばかりの野菜たちは生きている。

撮影後すべて食べてしまっているので二度と同様の写真を撮ることはできないが、生命力を持っているがゆえに表出される美しさや、ちょっと変わった形状のものが見せる面白さやパワーを表出しようとした。

エドワード・ウェストンの作品の完成度は極めて高いが、私は、単に野菜を忠実に捉えることに加えて、異星からやってきたような未知の生物やグロテスクに見えるものを pickup することとした。

〈3〉組写真または映像のテーマの説明

普段眼にしている野菜も、様々な角度から見ると異質のものに見えてくることがある。

また cut することによって思いもかけない新たな発見をすることもある。

それは、人物または何かの顔であったり、未知の生物であったり、何か別の感覚を抱かせるものであったり・・・。

これらの野菜たちが見せる様々な側面をできるだけ精密に捉えたいと考えた。

それらからは新たな生命やその根源にあるものが見えてくる。

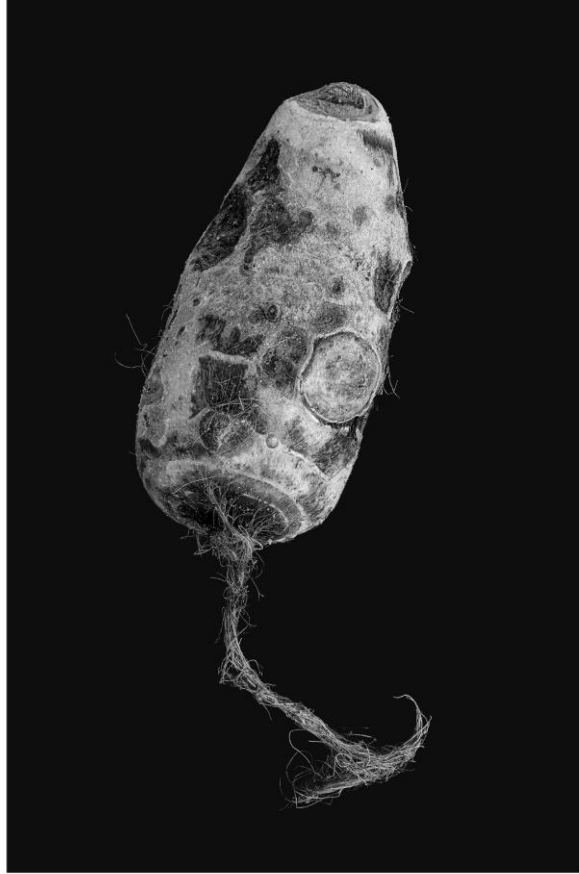
〈4〉作品画像 10 点程度と各作品の題名
題名 「Atypical Vegetables」



№ 01



№ 02



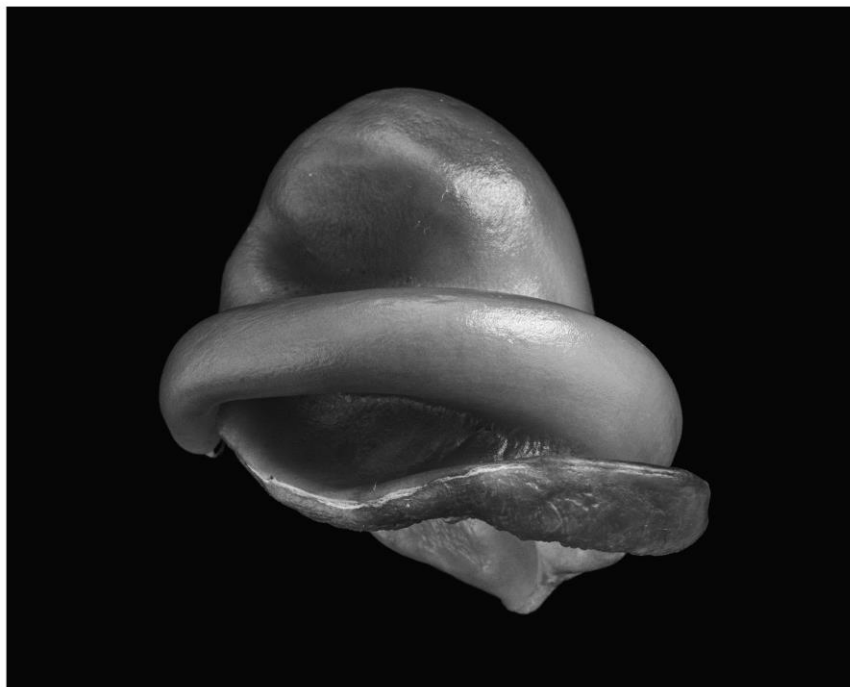
№ 03



№ 04



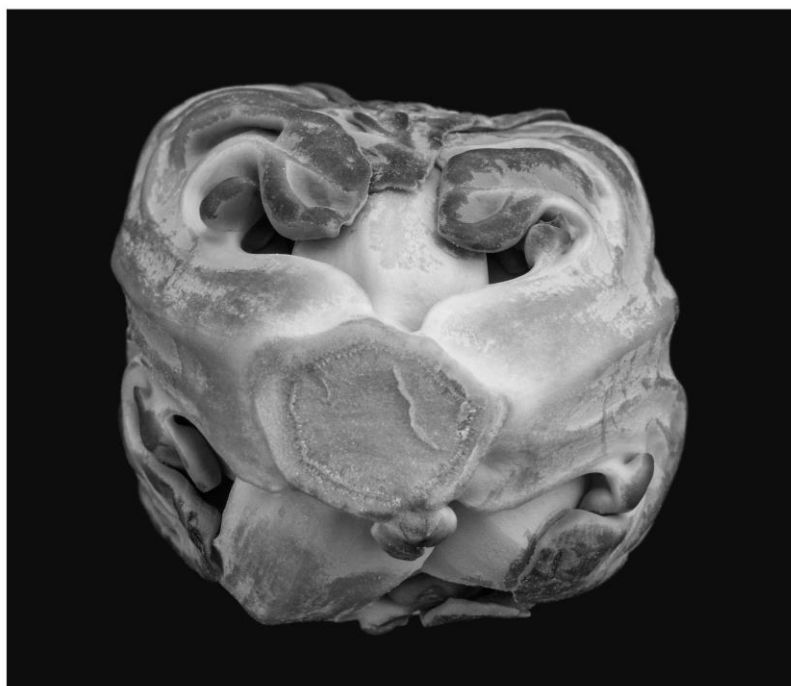
№ 05



№ 06



№ 07



№ 08



№ 09



№ 10